

- スマートシティの具体的な取組みを確実かつ円滑に進めるためには、戦略・広報・技術に関する専門的知見を持つ民間人材の助言が不可欠です。
- そのため、鎌倉市スマートシティ庁内検討委員会設置要綱第3条第2項の規定に基づき、以下のスマートシティ推進参与(非常勤特別職職員)2名を臨時委員として指名し、庁内検討委員会の構成員として今後会議への出席と助言を求めようとするものです。

○スマートシティ推進参与

※スマートシティ推進参与設置要綱に基づく非常勤特別職職員

担当分野

所属・氏名・役割

1

ストラテジー
(戦略)



南雲 岳彦氏 / (一社)スマートシティ・インスティテュート専務理事

ストラテジー(戦略)の観点から、国内外のスマートシティに関する幅広い知識と人脈を活かし、市民との合意形成手法をはじめスマートシティの設計に対して助言をいただくとともに、スマートシティの最終ゴールである「住みやすさと幸福感の数値化・指標化(LWCI)」の共同研究を行う

2

コミュニケーション
(広報)



加治 慶光氏 / グロービス経営大学院教授、株式会社シナモン取締役会長

コミュニケーション(広報)の観点から、中央省庁、企業、著名人等への幅広い人脈を活かし、戦略的広報・プロモーション・市民合意形成の促進・展開に対して助言をいただく

3

テクノロジー
(技術)

現在委嘱に向けて調整中